



山口県内の経済情勢

令和5年4月25日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 工藤

TEL：(083)922-2190(代)

HP 掲載先：

[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)




調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	




(注) 5年4月判断は、前回5年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。






(判断の要点)

個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	物価上昇の影響はみられるものの、緩やかに持ち直している	物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している	
生産活動	物価上昇等の影響がみられるなか、持ち直しのテンポが緩やかになっている	足踏みの状況にある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	

設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	4年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	4年度は減益見込み	4年度は減益見込み	
企業の景況感	「上昇」超に転じる	「下降」超に転じる	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を上回る	前年を上回る	

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している」

百貨店・スーパー販売、コンビニエンスストア販売は、飲食料品などが堅調なことから、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、医薬品や飲食料品などが好調なことから、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、白物家電などが好調なことから、前年を上回っている。また、乗用車販売は、普通乗用車などが持ち直していることから、前年を上回っている。これらのことから、個人消費は、物価上昇の影響はみられるものの、全体では、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 価格転嫁のため、食料品を中心に販売価格が上がっているが、現時点では販売点数に大きな変化は見られない。一方で、今後も仕入価格とともに販売価格も上がる見通しで、特にうどんやパンなど小麦製品の値上げによる買い控えを懸念している。(スーパー)
- 人流が増加傾向にあり、客数は年末から大きく改善している。商品単価の上昇も売上に寄与しており、コロナ前の売上を超えている状況である。(コンビニエンスストア)
- 一部の自治体で省エネ家電の買い替え補助金事業があり、冷蔵庫やエアコンなどの白物家電を中心に、比較的高価格帯の商品が好調となった。(家電大型専門店)
- 納期の長期化は続いているものの、自動車メーカーの国内向け生産台数が回復傾向にあり、年明け以降は販売台数が持ち直しつつある。(自動車販売店)
- 全国旅行支援もあって、特に春休み期間中は予約が急増。国内で長距離・長期間の旅行が増えているほか、海外旅行についても予約が入り始めている。(旅行代理店)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

化学は、海外向けの樹脂原料などの需要には弱さがみられるものの、医薬品などの需要が堅調であることから、生産は高い水準で推移している。窯業・土石は、セメントで、東南アジア向けの需要は堅調であるものの、国内需要には弱さがみられることから、生産はおおむね横ばいで推移している。鉄鋼は、建材向けなどに受注の減少がみられることから、生産水準が低下している。輸送機械は、自動車で、半導体不足などの影響が続いており、生産は低い水準で推移している。これらのことから、生産活動は、足踏みの状況にある。

- 樹脂原料は国内外ともに低調な需要が続いているが、医療分野や半導体関連などの機能性製品の需要は堅調である。(化学)
- セメントは、建設工事の長期化のため引続き国内向けの需要が低調であるほか、ゼロコロナ政策明けでも中国向けの建設需要はあまり回復していない。東南アジア向けは、中国と比較すると需要は堅調。(窯業・土石)
- 建材向けについて、国内では依然として建設工事の遅れが続いており、需要は低調。海外向けの出荷は、原材料価格やエネルギーコスト上昇に伴う製品価格の上昇により、安価な海外製品との価格の競合が起り、新規受注の獲得が難しくなっている。(鉄鋼)
- 半導体不足の影響は当面続くとみている。半導体不足の解消を進めているところではあるが、不足が解消しない限りは生産量の上積みも難しい。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

新規求人数が増加していることや、有効求人倍率が高めに推移していることなどから、雇用情勢は、持ち直している。

- 半導体関連向け製品の引き合いが強く、生産設備を増強しており、それに見合った人員確保に取り組んでいる。(鉄鋼)
- 新卒の採用人数が目標を下回る結果となり、雇用環境の引き締めを感じている。採用強化に向け、初任給を引き上げる形で賃上げを実施。(小売)

■ 設備投資 「4年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、石油・石炭などで減少するものの、化学、鉄鋼などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで減少するものの、その他の物品賃貸、鉱業・採石などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 半導体関連向け製品などの生産能力増強が中心。今後は、脱炭素に向けた設備投資を増やしていく予定。(化学)
- レンタル車両及びリース車両の購入を行う。レンタル車両は、減価償却に伴う更新をベースとしつつ、需要に応じて追加等の調整を行っている。(その他の物品賃貸)

■ 企業収益 「4年度は減益見込み」

- 製造業では、鉄鋼などで増益となるものの、化学、窯業・土石などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで増益となるものの、建設、小売などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じる」

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超に転じている。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、分譲住宅が増加しているものの、持家、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

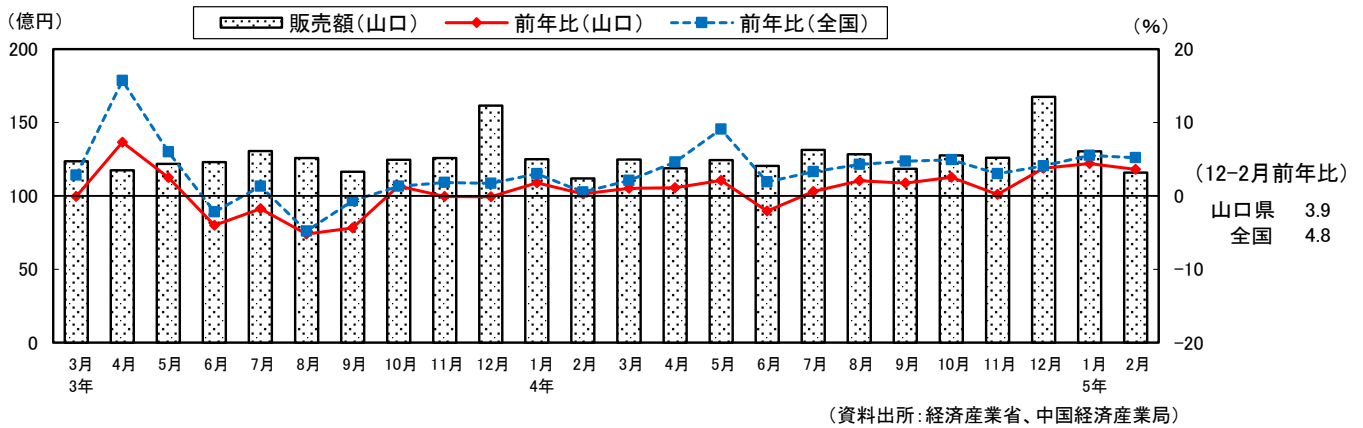
- 輸出（円ベース）は、一般機械、石油製品などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、西欧、大洋州などで増加している。
なお、輸入（円ベース）は、石炭、原油及び粗油などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、大洋州、アジアなどで増加している。

資料編

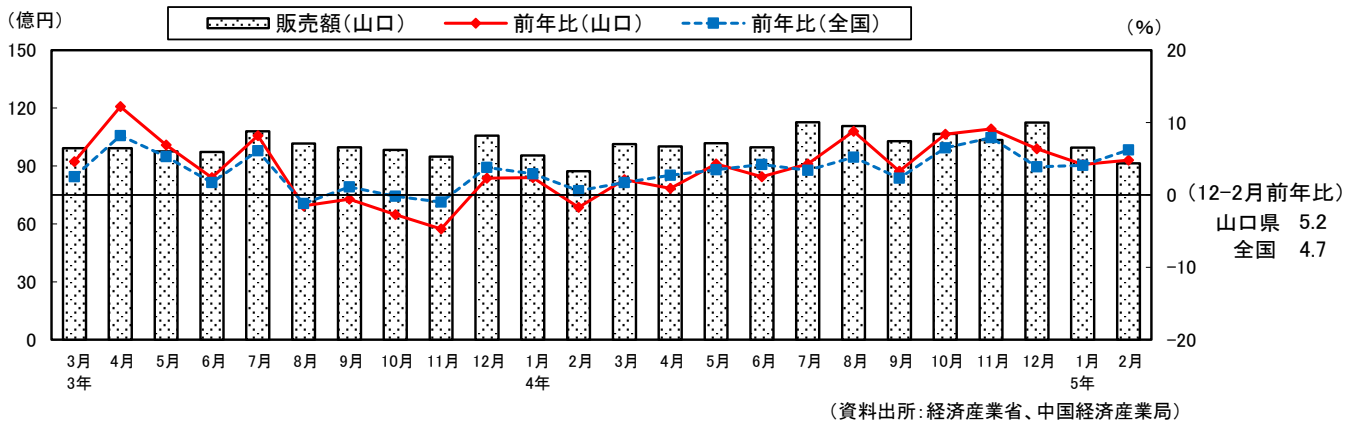
目次	ページ
1. 個人消費	1～2
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

1. 個人消費 物価上昇の影響はみられるものの、持ち直している

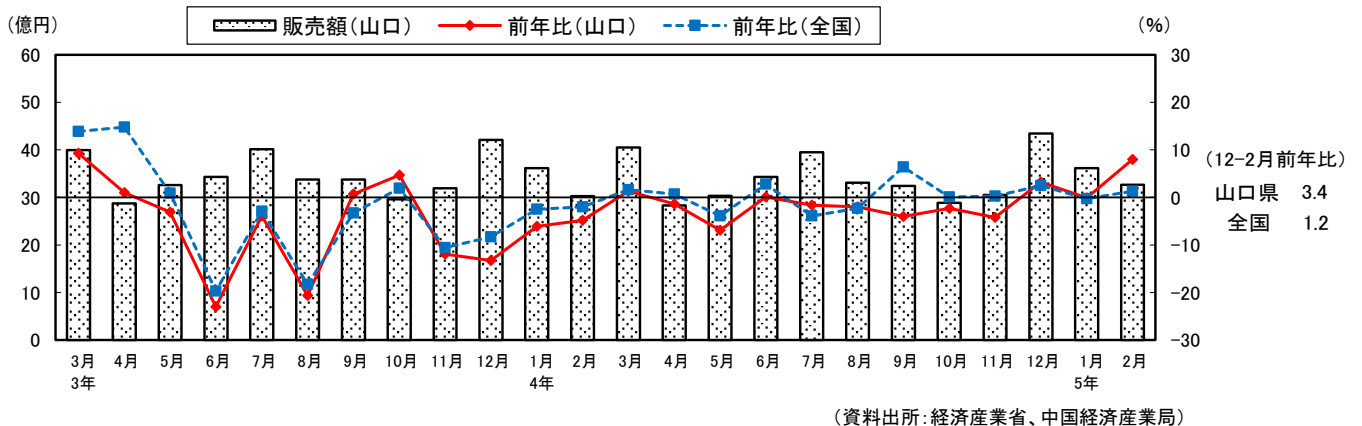
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



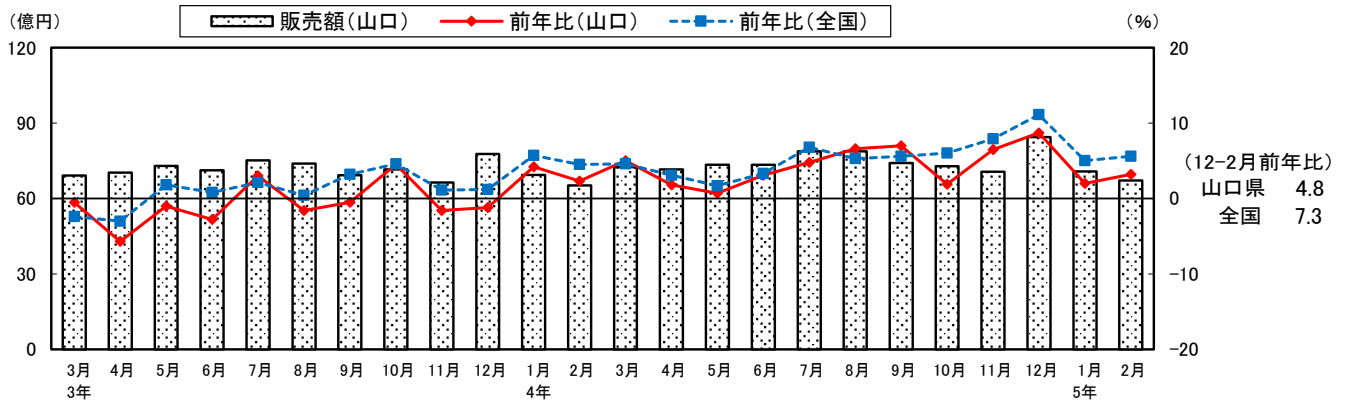
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)

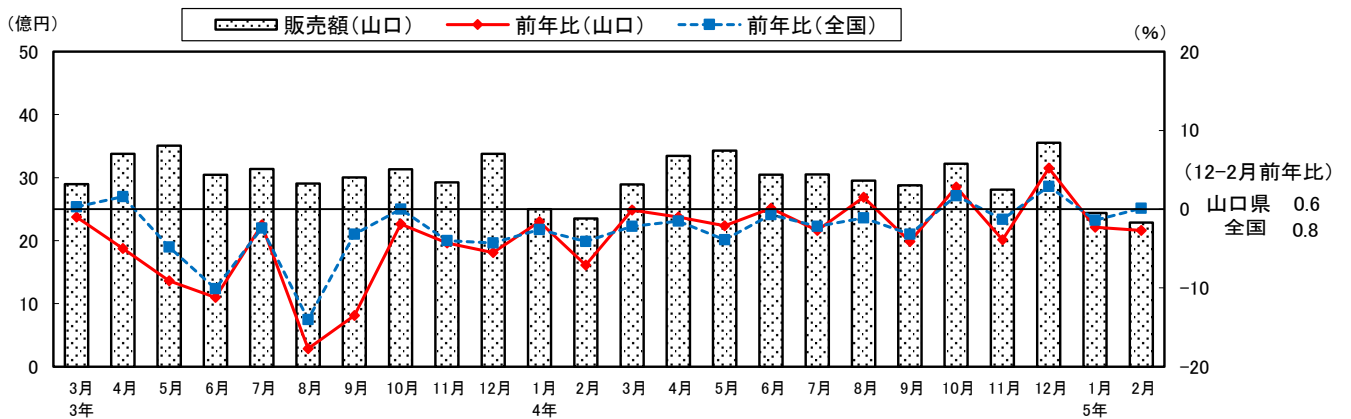


(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



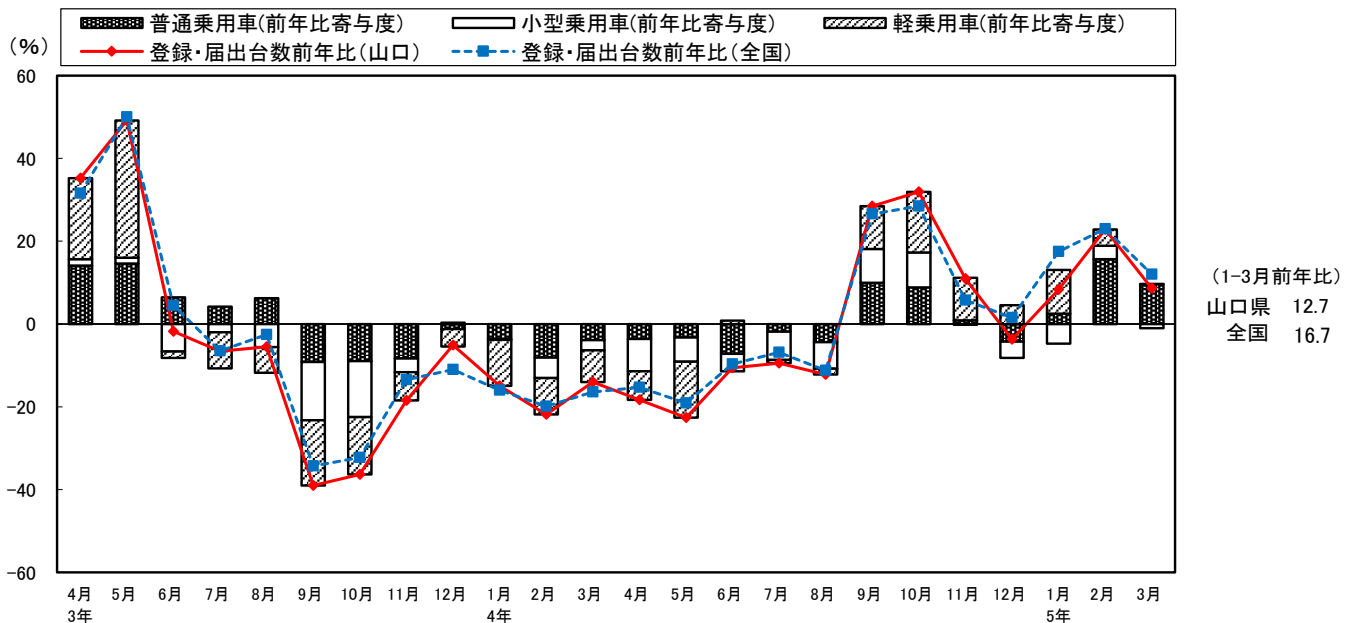
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

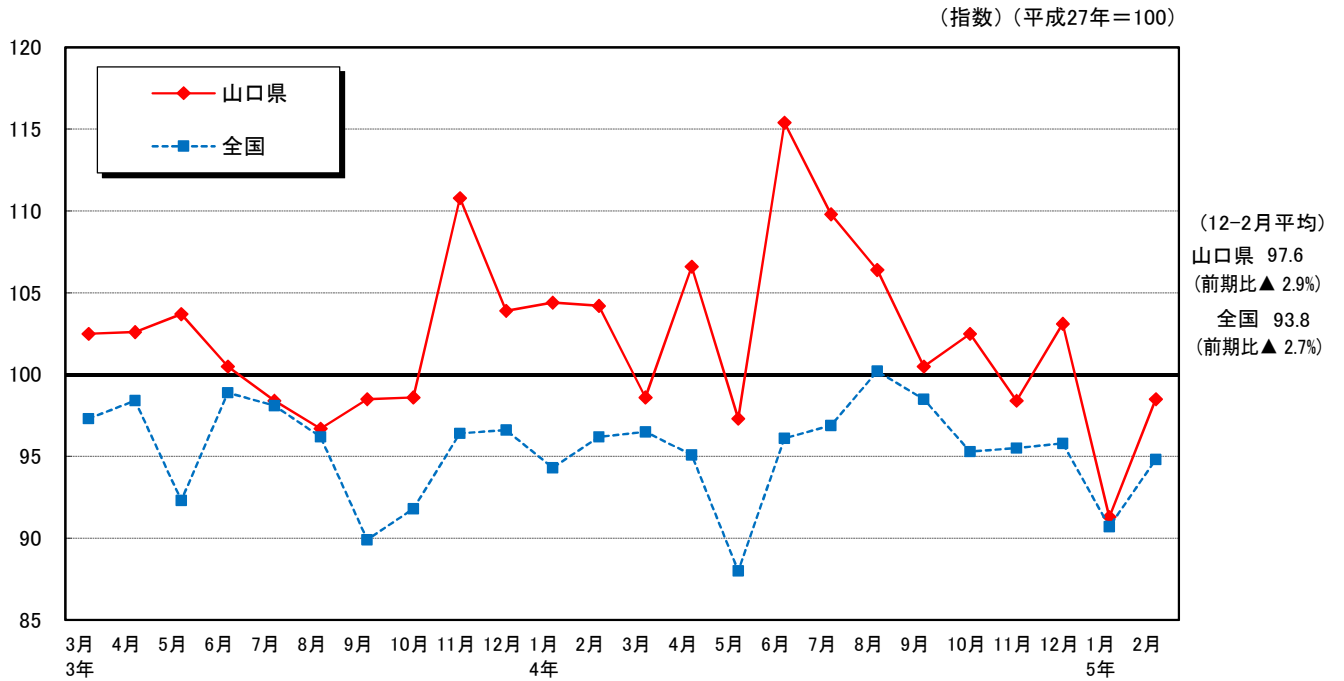
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局)

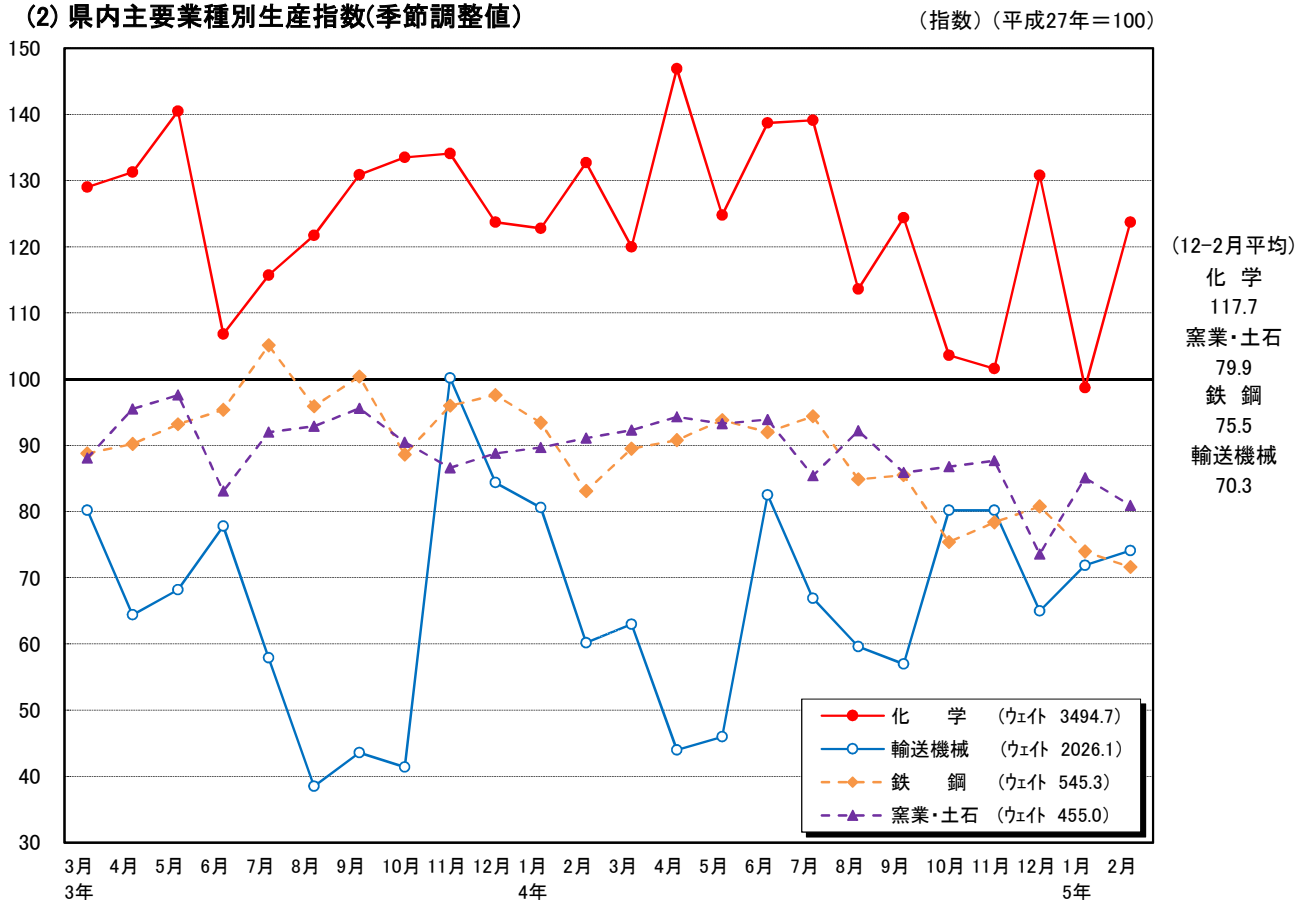
2. 生産活動 足踏みの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所: 経済産業省、山口県)

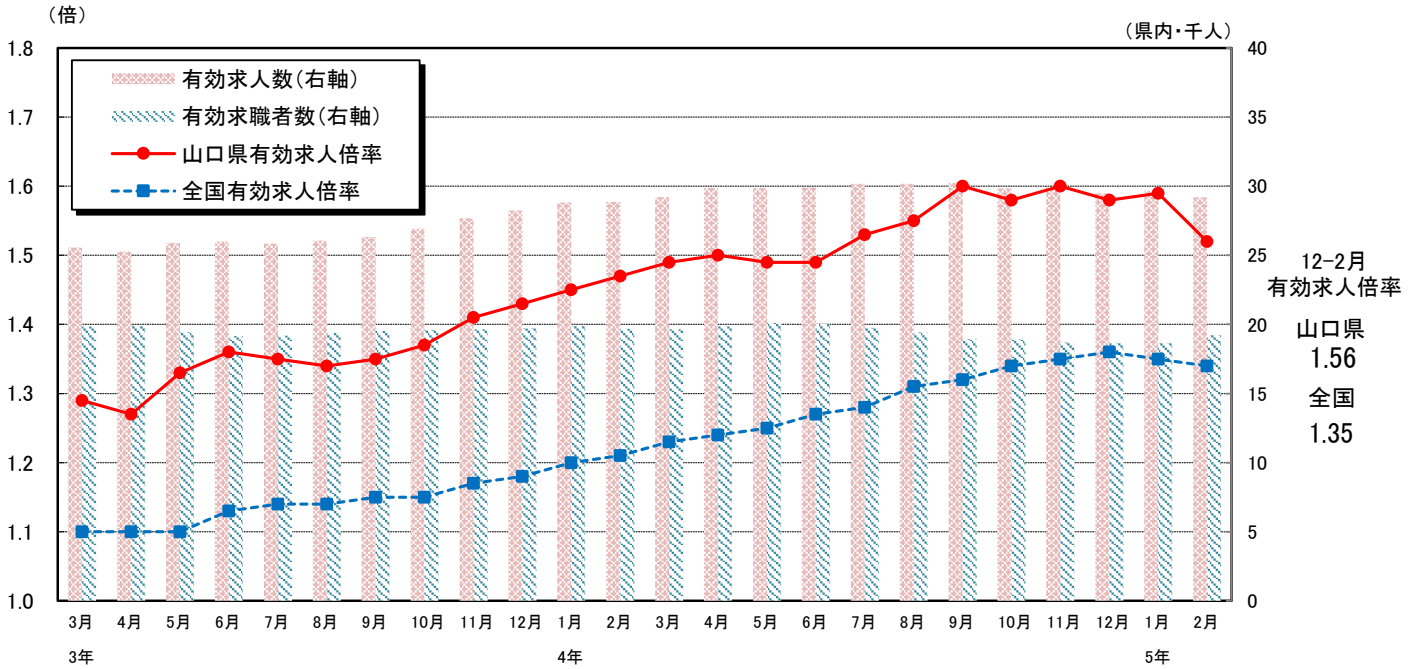
(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)



(資料出所: 山口県)

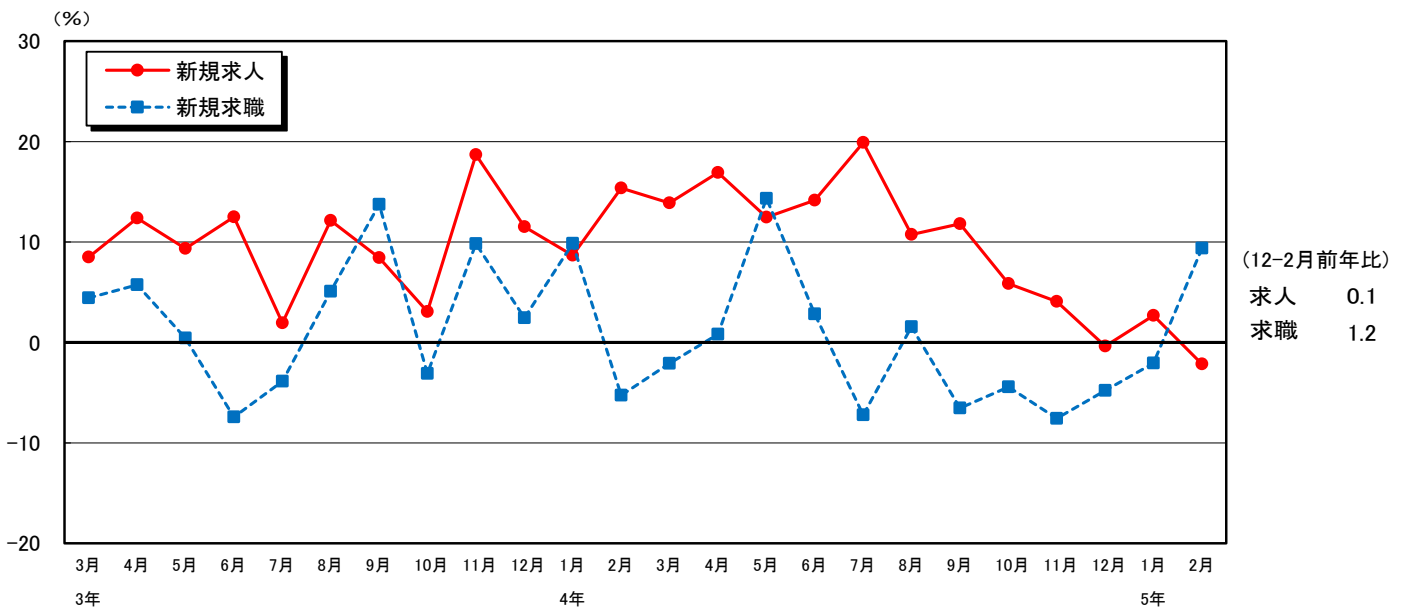
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、山口労働局)

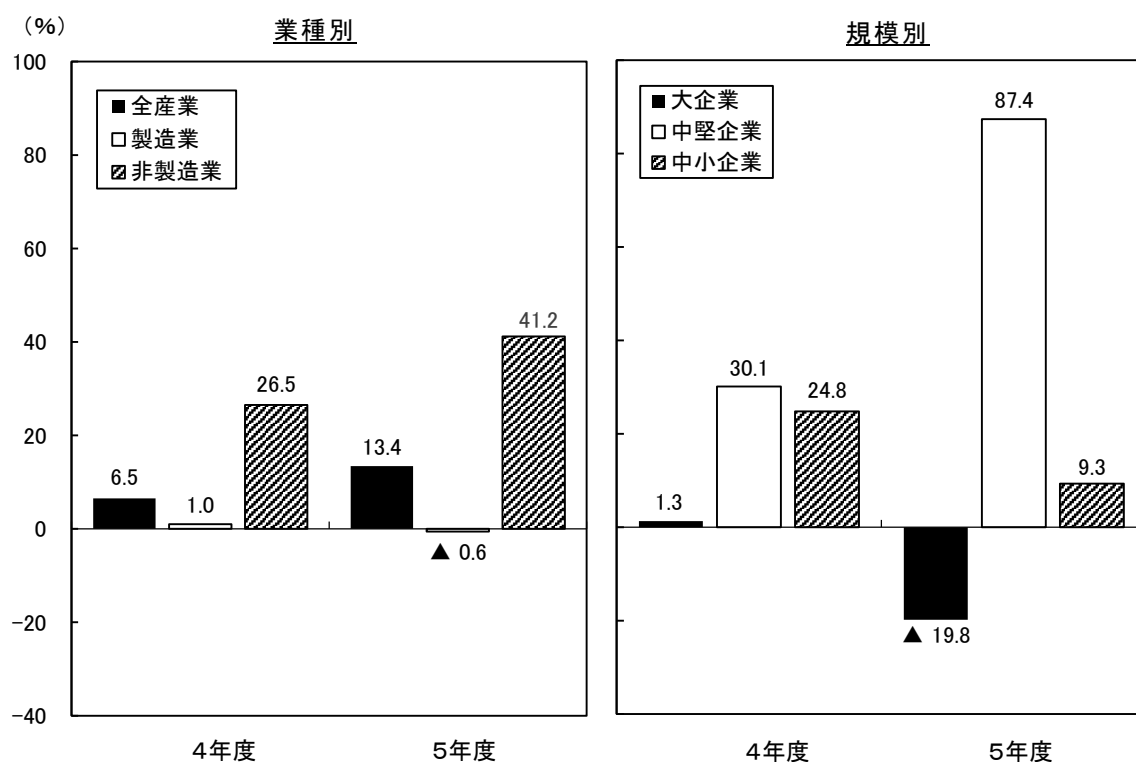
(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



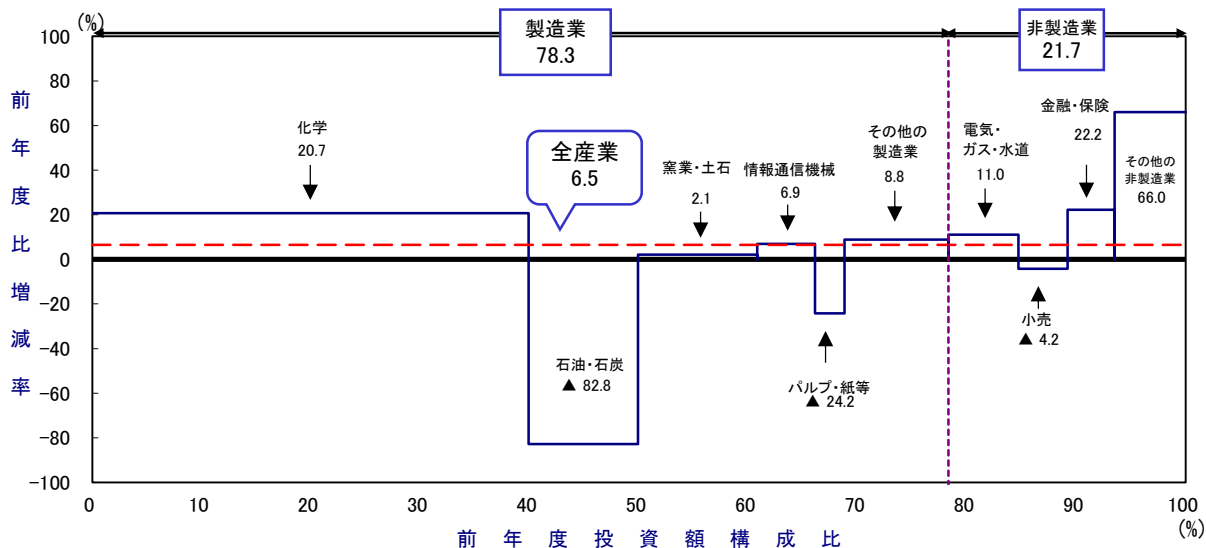
(資料出所:山口労働局)

4. 設備投資 4年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



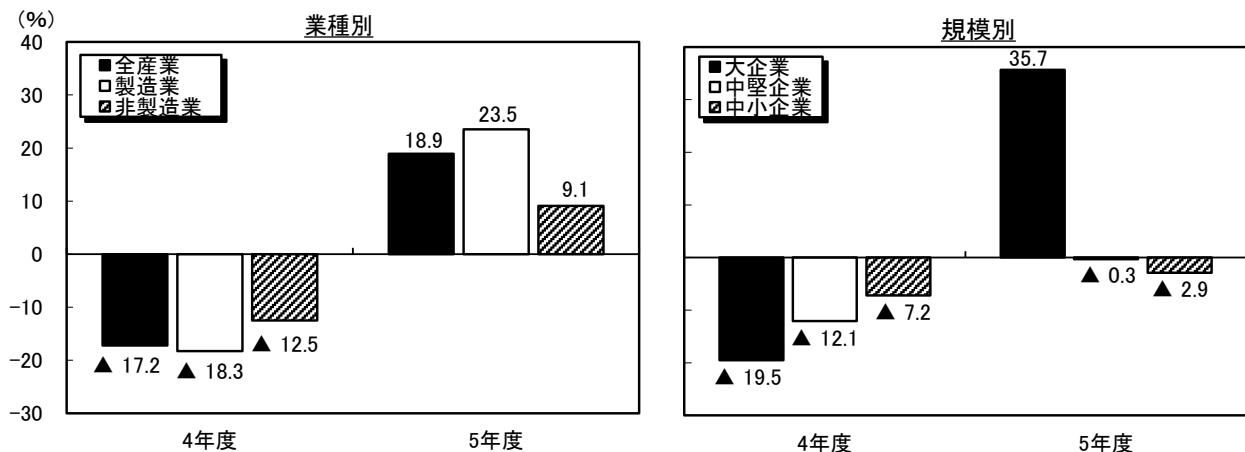
(2) 主要業種別(4年度)



(資料出所:山口財務事務所)

5. 企業収益 4年度は減益見込み

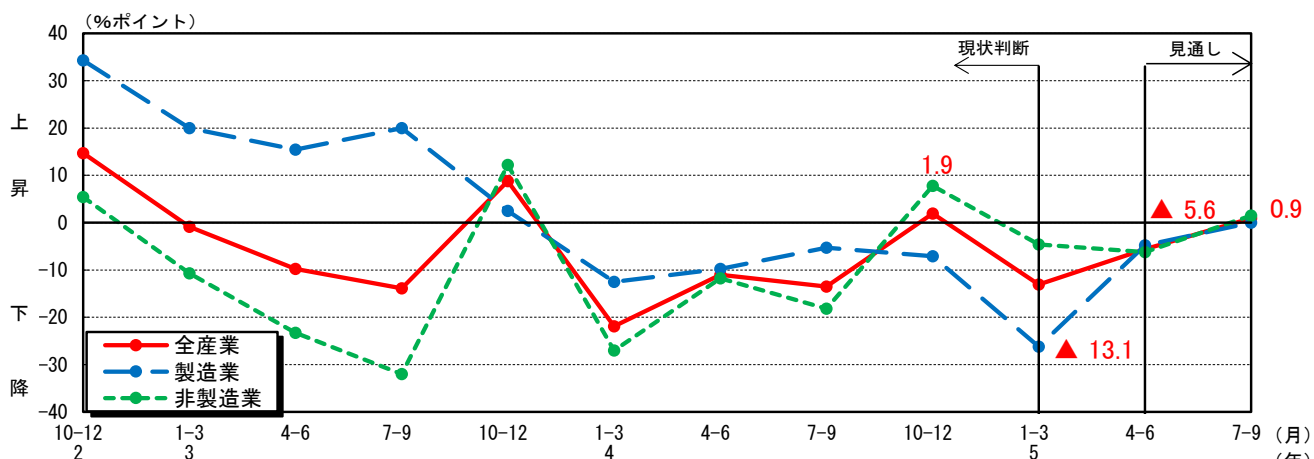
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 山口財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超に転じる

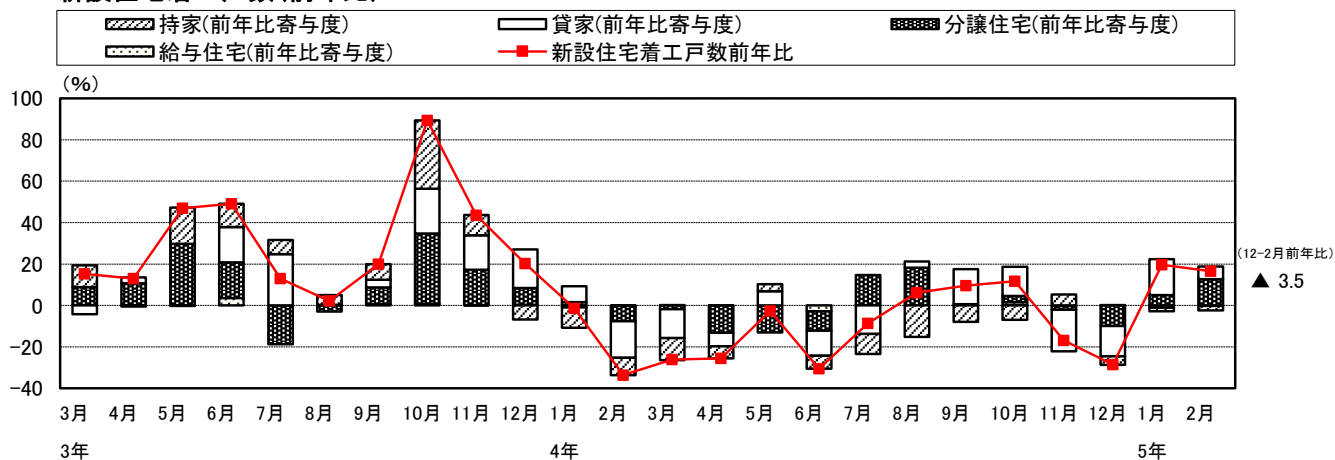
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」「下降」社数構成比)



(資料出所: 山口財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

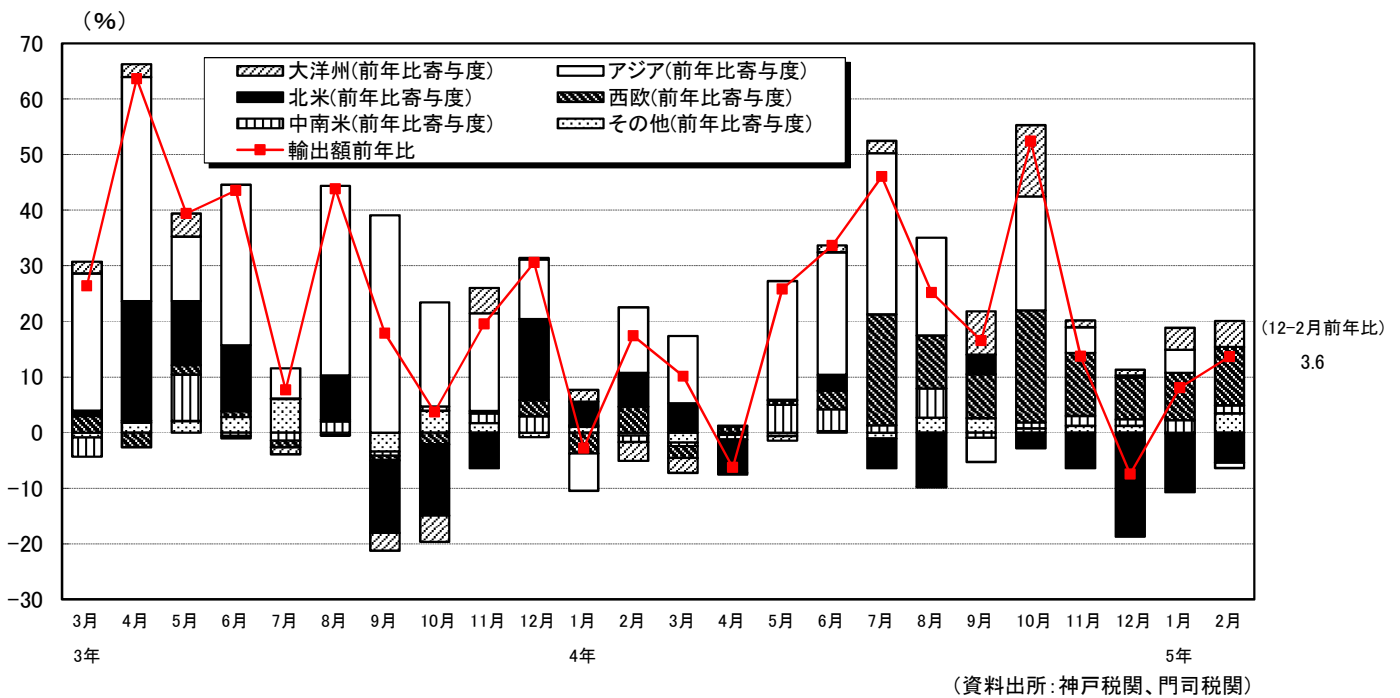
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

